

社会的調査の成果

1 来訪者の状況

(1) 本丸跡来訪者

平成 28 年度

- ・本丸会館駐車場利用者 約 456,000 人
 - ・るーぷる仙台「仙台城跡」バス停降車 117,624 人（観光課より情報提供）
- 以上の数から、本丸跡来訪者数は約 574,000 人と想定される

平成 27 年度 約 531,000 人

平成 26 年度 約 464,000 人

※平成 28 年度の観光客数（市ホームページ公開資料）

仙台市の観光客入込数 22,146,806 人

外国人宿泊者数 128,450 人

仙台城跡・瑞鳳殿・仙台市博物館来訪者の合算 946,214 人

(2) 仙台城見聞館入館者

平成 28 年度 125,740 人

平成 27 年度 132,441 人

平成 26 年度 106,974 人（2/19～3/26 休館）

平成 18 年 3 月の開館以来、平成 29 年 11 月 30 日まで 1,196,777 人（1 日あたり 280 人）
（無料の施設であるため、管理人が入館者数を記録している）

(3) 仙台城跡ホームページ（文化財課）のアクセス数

平成 29 年 11 月 3,282 件

(4) 仙台市博物館入館者

平成 28 年度 161,006 人（1～3 月休館）

平成 27 年度 189,824 人

平成 26 年度 164,955 人

「政宗展」入館者数 42,525 人（平成 28 年 10 月 7 日～11 月 27 日）

2 観光客動態調査

「平成 27 年度仙台市観光客動態調査報告書」（仙台市）（※文中の下線は事務局で付けたものです）

(1) 調査実施日

WEB アンケート 平成 27 年 9 月 11 日～9 月 17 日 有効回答数 4,000 件

交流地点におけるアンケート 平成 27 年 9 月 23 日、26 日、27 日、28 日、30 日

11 月 18 日、20 日、22 日、25 日、29 日

有効回答数 1,602 件

(2) WEB 調査の主な内容

①仙台市と聞いて思い浮かぶ場所・モノ・コト

牛タン 45.9%、伊達政宗 23.8%、仙台城跡 22.1%、七夕 16.4%、笹かまぼこ 8.8%
松島・瑞巖寺 6.1%、ずんだ（餅、シェイク等） 5.5%

②来訪経験

仙台城跡 42.4%、秋保温泉 27.4%、仙台七夕まつり 26.8%、国分町 25.6%

③訪れて良かったところ

仙台城跡 36.4%、秋保温泉 25.2%、仙台七夕まつり 20.0%

④再訪時に行ってみたいところ

秋保温泉 31.8%、仙台七夕まつり 25.8%、作並温泉 23.8%、ニッカウキスキー宮城峡
蒸留所 20.4%、仙台城跡 20.3%、仙台うみの杜水族館 20.0%

⑤来訪経験のない方が想定する来訪目的

歴史・文化観光 53.4%、自然・景観観光 51.0%、本格グルメ 48.9%

(3) 交流地点※におけるアンケート調査の主な内容

(※仙台駅、高速バス乗り場、仙台空港、高速道路菅生PA、仙台城跡、松島)

①来訪のきっかけ

歴史・文化観光 26.5%、自然・景観観光 23.5%、ビジネス 19.1%
男性ではビジネスが最多で 29.3%、女性では歴史・文化観光が最多で 30.1%

②訪問場所

仙台城跡 37.3%、国分町 15.0%、秋保温泉 12.8%、定禅寺通り 11.7%、
瑞鳳殿 10.2%、三井アウトレットパーク 7.4%、仙台うみの杜水族館 6.8%

③訪れて良かったところ

仙台城跡 18.5%、秋保温泉 7.4%、国分町 6.4%、定禅寺通り 5.4%

(4) 仙台観光の現状分析

①仙台市に対しては、歴史ある古都というイメージに加え、牛タンを代表としたその土地ならではの食を楽しめる場所であるというイメージが定着している。

しかしながら一方で、同じように古都としてイメージが定着している「金沢」や、食のイメージが強い「札幌」などと比べると、仙台市は飛び抜けて特徴的なイメージがないことが分かる。

②仙台市の人口規模に対する観光入込客数は多いものの、その多くは日帰り客であることが分かる。

③仙台市は東北のビジネス拠点であり、交流地点調査でも明らかになっているとおり、観光地における来訪者の来訪目的でも約2割がビジネス目的である。このことは、前述の日帰り客数が多いことにも表れているといえる。ビジネス目的での来訪者が多いことは仙台市にとって大きな強みでもあり、一方では弱みになっている。

(5) 仙台観光の課題

①仙台市の観光における最大の課題は「観光都市」としてどこにポイントを置くかということである。現状においては、他の地域から「観光都市」としては見られておらず、宮城県及び近隣県からのショッピングの場所、あるいは東北におけるビジネスの拠点というイメージが強す

ざるため、仙台市と観光の結びつきが非常に弱い状況である。

②仙台市は全てにおいて平均的であり、そのことがイメージの打ち出しとしてマイナスに働いているものとする。例えば仙台市の観光地で最も認知度が高く訪問意向も高い「仙台城跡」でさえも Web 調査による認知度が 60.1%と決して高い数値とは言えず、その他の観光資源に至っては観光を誘致できるほどの認知率に至っていない。

③観光客が魅力を感じるコンテンツ、観光地としてどのようなベネフィットを旅行者に提供できるのかといった、観光地としてのポジショニングが不明瞭であることが大きな課題であるとする。(※コンテンツ：中身、内容 ベネフィット：利益、恩恵 ポジショニング：位置づけ)

3 交通機関の利用状況

(1) 地下鉄東西線

国際センター駅乗車人数 平成 28 年度 1,095,203 人 (1 日平均 3,001 人)

(2) 市道の通行量

東北工業大学工学部建設システム工学科

環境測量研究室が調査

平成 19 年 9 月 26 日 (木) 7:00~19:00

バイク、乗用車等のエンジン付き車両の台数

①大手門脇櫓前

本丸方面から 5,558 台

本丸方面へ 4,777 台

(計 10,335 台)

②切通付近

青葉山キャンパス方面から 2,007 台

青葉山キャンパス方面へ 2,514 台

(計 4,521 台)

